

記入例

新庄市長 山科 朝則

提出日を
記入して下さい。

令和6年4月1日

申請者 住所 **新庄市沖の町 00-00**

自署の場合は押印不要です。
Word等で記名の場合は
名前の横に押印が必要です。

氏名 **住宅 男**

工事場所 (住所と同じ)

連絡先 **0233-22-2111**

令和6年度補助金等交付申請書

令和6年度(新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金)に対して 300,000 円
を交付されるよう新庄市補助金等交付規則第3条の規定により、次のとおり申請します。

記

補助金額を
記入して下さい。

1 補助事業の名称 令和6年度 新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金

- 「一般型」リフォーム補助金：補助率 1/5（上限 24 万円）
- 「移住世帯型」リフォーム補助金：補助率 1/3（上限 30 万円）
（移住世帯・新婚世帯・子育て世帯）
- 「減災対策」リフォーム補助金：補助率 4/5（上限 30 万円）
- 耐震改修補助金（・市内業者と契約 ・市外業者と契約）
※該当する申請項目に 印または○印を記すこと

該当する項目に
チェックを入れて下さい

2 補助事業の目的及び完了予定年月日

目 的：住宅の質の向上と住宅投資の波及効果による経済の活性化又は地震による
家屋倒壊からの人命保護

完了予定年月日：令和6年6月30日

工事が完成するおおよその
予定日を記入ください

3 添付書類

- (1) リフォーム工事図面 (2) 工事見積書
(3) 工事基準点算出表 (4) 工事前写真
(5) その他（同意書、暴力団排除に関する誓約書）

申請書の誤字は絶対に修正液や修正テープで直さないでください。
必ず二重線を引き、訂正印を押す、見え消しをしてください。

令和6年度 工事基準点算出表

区分	番号	工事内容	基準点	数量	工事点
減災対策	1-1	住宅に防災ベッドを設置する工事	10点/箇所	箇所	点
	1-2	住宅に耐震シェルターを設置する工事	10点/箇所	箇所	点
	1-3	居室部分を補強する工事	10点/箇所	箇所	点
寒断さ熱対策	2-1	やまがた省エネ健康住宅の認証を受けた改修工事	10点/箇所	箇所	点
	2-2	外部に面する住宅の開口部に別表第6(1)の基準を満たす建具を設置する工事	5点/箇所	2箇所	10点
	2-3	熱交換換気システムを設置する工事	4点/箇所	箇所	点
	2-4	住宅の既存部分の外気と接する外壁、天井、床等に別表第6(2)の基準を満たす断熱材	2点/㎡		点
	2-5	浴室、脱衣室、トイレ、廊下の伴う暖房機器を設置する工事			点
<p>該当する工事内容を記入してください(10点以上)(工事費50万以下は5点以上)</p>					
バリアフリー化	3-1	住宅内の廊下又は出入口の幅を拡張する工事	10点/㎡	㎡	点
	3-2	勾配の緩い階段に交換し、又は改良する工事	10点/箇所	箇所	点
	3-3	浴室を改良する工事であって、次のいずれかに該当するもの			
	(1)	浴室の床面積を増加させる工事	10点/㎡	㎡	点
	(2)	浴槽のまたぎ高さを低くする工事	10点/箇所	箇所	点
	(3)	固定式の移乗台、踏み台その他の浴槽の出入りを容易にする設備を設置する工事	2点/箇所	箇所	点
	(4)	身体の洗浄を容易にする水洗器具を設置し、又は同器具に取り替える工事	3点/箇所	箇所	点
	3-4	便所を改良する工事であって、次のいずれかに該当するもの			
	(1)	便所の床面積を増加させる工事	10点/㎡	㎡	点
	(2)	便器を座便式のものに取り替える工事	10点/箇所	箇所	点
	(3)	座便式の便器の座高を高くする工事	10点/箇所	箇所	点
	3-5	居室、便所、浴室、脱衣所若しくは玄関又はこれらを結ぶ経路に手すりを取り付ける工事			

	(1)	長さが 100cm 以上の手すりを取り付けるもの	2点/m	m	点
	(2)	長さが 100cm 未満の手すりを取り付けるもの	2点/箇所	箇所	点
	3-6	居室、便所、浴室、脱衣所若しくは玄関又はこれらを結ぶ経路の床の段差を解消する工事（勝手口その他屋外に面する開口の出入口及び上がりかまち並びに浴室の出入口にあつては、段差を小さくする工事を含む）			
	(1)	勝手口その他屋外に面する開口の出入口及び上がりかまち並びに浴室の出入口の段差解消又は段差を小さくするもの	10点/m ²	m ²	点
	(2)	(1)以外の部分の段差を解消するもの	5点/m ² 又は 2点/箇所	m ² 又は 箇所	点
	3-7	住宅の出入口の戸を改良する工事であつて、次のいずれかに該当するもの			
	(1)	開戸を引戸、折戸等に取り替える工事	5点/箇所	箇所	点
	(2)	開戸のドアノブをレバーハンドル等に取り替える工事	1点/箇所	箇所	点
	(3)	戸に戸車その他の戸の開閉を容易にする器具を設置する工事			
	ア	戸に開閉のための動力装置を設置するもの	10点/箇所	箇所	点
	イ	戸を吊戸方式に変更するもの	5点/箇所	箇所	点
	ウ	ア及びイ以外のもの	2点/箇所	箇所	点
	3-8	居室、便所、浴室、脱衣所若しくは玄関又はこれらを結ぶ経路の床の材料を滑りにくいものに取り替える工事	1点/m ²	m ²	点
	3-9	エレベーターや階段用昇降装置を設置する工事	10点/箇所	箇所	点
克 雪 化	4-1	住宅の屋根の雪下ろし作業の安全性を確保する工事であつて、次のいずれかに該当するもの			
	(1)	雪下ろし作業用命綱（安全带）を固定するための金具を取り付ける工事	2.5点/箇所	箇所	点
	(2)	雪止めを設置し、又は取り替える工事	累計5m未満は5点/箇所 累計5m以上は10点/箇所	箇所	点
	(3)	固定式ハンゴを設置し、又は取り替える工事	1階分につき5点	階分	点
	4-2	住宅の屋根の雪を落ちやすくするため屋根を改良する工事であつて、次のいずれかに該当するもの			
	(1)	屋根の勾配を大きくする工事	10点/箇所	箇所	点

	(2)	雪が滑りやすい屋根材に改良する工事	10点/箇所	箇所	点
	(3)	屋根に雪割板を設置する工事	10点/箇所	箇所	点
	4-3	住宅又は住宅の敷地内に融雪設備を設置する工事	10点/箇所	箇所	点
県産木材 使用	5	住宅に県産木材を使用した工事	2.5点/0.1m ³	m ³	点
合計	点数の合計が10点（工事費50万円未満の場合は5点）以上あることを確認すること				10 点

(1)2-2 で定める建具の基準

工事内容	熱貫流率 (W/m ² ・K)
外窓交換	3.5 以下
内窓設置	複層ガラス入りの内窓を設置する工事

(2)2-4 で定める断熱材の基準

部位	熱抵抗値 (m ² ・K/W)
屋根	4.6 以上
天井	4.0 以上
外壁	2.2 以上
床	3.3 以上
土間床等の外周部分の基礎壁	1.7 以上

補助金額計算表

対象工事区分	見積額	計算式	申請補助金額※
リフォーム工事 (一般型)	円	左欄 × 1/5 = 円	円
リフォーム工事 (移住世帯型)	1,000,000 円	左欄 × 1/3 = 330,000 円	300,000 円
リフォーム工事 (減災対策)	円	左欄 × 1/3 = 円	円
耐震改修工事	円	左欄 × 1/2 = 円	円
合計	円		円

添付する見積書の工事費用（税込）を
記入してください。

申請補助金額は千円未満を切り捨てと

工事費の1/3の額か上限30万円の
どちらか安い額が補助金額になります。

断熱リフォーム工事チェックリスト

1. 令和6年度工事基準点算出表内 2-2 に該当する建具の断熱改修工事

該当	工事の種類	窓等の数	仕様（建具とガラス又は枠と戸の種類） 又は製品名	熱貫流率U※ (W/m ² ・K)	基準値	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/>	外窓交換	1	【建具】アルミ樹脂複合 【ガラス】3+A16+Low-E3	2.34	3.5 以下	<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	内窓設置	1	【建具】樹脂製 【ガラス】複層ガラス		3.5 以下	<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ドア交換				3.5 以下	<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>

カタログ等から抜粋の上
記入して下さい。

※熱貫流率Uを製品カタログ又は参考資料で確認し、該当箇所にマーカーを引く等示したうえで添付してください。

市が記入する欄です。
ここは記入しないでください。

2. 令和6年度工事基準点算出表内 2-4 に該当する外壁、天井、床等の断熱改修工事

該当	改修部位	断熱材の種類 又は製品名	厚さ (mm)	熱伝導率※ (W/m・K)	熱抵抗値R (m ² ・K/W)	基準値	確認欄
<input type="checkbox"/>	屋根					4.6 以上	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	天井					4.0 以上	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	外壁					2.2 以上	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	床					3.3 以上	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	基礎					1.7 以上	<input type="checkbox"/>

※熱伝導率を製品カタログ又は参考資料で確認し、該当箇所にマーカーを引く等示したうえで添付してください。

熱抵抗値R (m²・K/W) = 材料厚さ (mm) ÷ 熱伝導率 (W/m・K) ÷ 1000

同意書

令和6年度新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金を申請するにあたり、新庄市の担当職員が私の課税資料等を閲覧することに同意します。

**提出日を
記入して下さい。**

令和6年4月1日

No.	氏名	住所	生年月日	滞納の有無
例	新庄 太郎	新庄市沖の町 10 番 37	平成 2 年 2 月 2 日	有・無・課税無
1	住 宅男	新庄市沖の町 00-00	昭和 0 年 0 月 0 日	有・無・課税無
2	住 宅子	新庄市沖の町 00-00	昭和 0 年 0 月 0 日	有・無・課税無
3	住 宅也	新庄市沖の町 00-00	平成 0 年 0 月 0 日	有・無・課税無
4	住 宅美	新庄市沖の町 00-00	令和 0 年 0 月 0 日	有・無・課税無
5				有・無・課税無
6				有・無・課税無
7				有・無・課税無
8				有・無・課税無
9				有・無・課税無
10				有・無・課税無

**リフォームをする住宅に住んでいる
世帯員全員分の自署をお願いします。
Word 等で記名の際は、押印が必要です。**

※太枠のみ記入してください。滞納の有無の欄は市が記入します。

**市が記入する欄です。
ここは記入しないでください。**

暴力団排除に関する誓約書

私 当社は、

- 1 下記~~の~~のいずれにも該当しません。将来においても該当することのないことを誓約します。
- 2 下記~~の~~の有無を確認するために、新庄市から役員名簿等の提出を求められたときは、~~役員名簿等が山形県新庄警察署に提供されることについて~~
- 3 **施工業者の会社ではなく、
申請者の方の誓約書なので、
「私」にチェックを入れてください。**また、不当な要求を受けたときは、ただちに警察署へ通報することにより、新庄市に報告します。
- 4 この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- 役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が、新庄市暴力団排除条例（以下「条例」という。）第2条第3号に規定する暴力団員等（以下「暴力団員等」という。）であること。
- 暴力団（条例第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等が経営に実質的に関与していること。
- 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしていること。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していること。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していること。

新庄市長 あて

令和6年4月1日

住所又は所在地 **新庄市沖の町 00-00**
商号又は名称 **住 宅 男**
代表者職氏名

生年月日 **昭和0年0月0日**

本籍
(山形県外在住者のみ記載要)

**申請者の方の自署または記名+押印を
してください。**

指令財発第 1 号

見本

請求書・実績報告書には
この番号を記入して下さい。

(令達先) 新庄市沖の町 00-00

住 宅 男 殿

令和6年4月1日で申請の新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金については、新庄市補助金等交付規則（昭和55年規則第9号）第6条の規定により、次の条件を付して交付する。

金額 300,000 円

令和6年4月8日

請求書・実績報告書には
こちらの日付を記入して下さい。

新庄市長 山科朝則

記

- 1 申請事業の他に流用しないこと。
- 2 経理内容を明らかにした帳簿を備え、当該収支についての証拠書類を整理保管しておくこと。

申請後、内容を精査したのち、
こちらの交付決定通知書をお渡しします。
大切に保管してください。

提出日を
記入して下さい。

令和6年7月15日

新庄市長 山科 朝則

自署の場合は押印不要です。
Word等で記名の場合は
名前の横に押印が必要です。

申請者 住所 **新庄市沖の町 00-00**

氏名 **住 宅男**

令和6年度(新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金)実績報告書

令和6年4月8日付指令第 1 号で交付決定のあつた事業について、新庄市
補助金等交付規則第9条(又は地方自治法第221条第2項)の規定により、その実績(又は状況)
を報告します

交付決定通知書の交付決定日と番号を
記入してください。

記

- 1 補助事業の名称 令和6年度 新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金
- 2 補助事業の成果及び完了年月日 令和5年7月5日
- 3 添付書類
 - (1) 工事請負契約書の写
 - (2) 領収書の写
 - (3) 完成及び工事中の写真

(2) 領収書の写

完了年月日とは工事が完了後、お金の
受け渡しが終了した日のことです。
工事領収書の日付と同日を記入してください。

契約書は任意書式です。
普段お使いのものでも構いません。

住宅リフォーム等工事請負契約書

原本のコピーを
提出して下さい。

工 事 名	令和6年度新庄市住宅リフォーム等総合支援事業 住宅リフォーム等工事・耐震改修										
工 事 場 所	新庄市 沖の町 地内										
工 期	令和 6 年 4 月 15 日から 令和 6 年 6 月 30 日まで										
請負代金額	¥	1,200,000	-								
	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">内</td> <td>工事代金額</td> <td>¥</td> <td>1,090,909</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>取引に係る消費税額 及び地方消費税額</td> <td>¥</td> <td>109,090</td> <td>-</td> </tr> </table>			内	工事代金額	¥	1,090,909	-	取引に係る消費税額 及び地方消費税額	¥	109,090
内	工事代金額	¥	1,090,909		-						
	取引に係る消費税額 及び地方消費税額	¥	109,090	-							
契約保証金	¥		前払金 ¥								

請負代金は申請した見積書と
同じ金額を記入して下さい。

上記の工事について、発注者(甲)と請負者(乙)とは、各々対等な立場における合意に基づいて、請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の締結を証するため、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

必ず補助金の交付決定後に
契約・工事着工して下さい。

令和**6**年**4**月**10**日

(甲)発注者 所在地 **新庄市沖の町 00-00**

氏 名 **住 宅 男** (印)

(乙)請負者 住所又は所在地 **新庄市沖の町 000-000**

氏名又は名称 **株式会社 都市整備**

及び代表者氏名

整備 都市男 (印)

「額の確定通知書の日付」
以降で請求する日を記入

令和 年 月 日

新庄市長 山 科 朝 則

請求書のみ、自署・記名
問わず押印が必要です。

住 所 **新庄市沖の町 00-00**

氏 名 **住 宅 男** (住)

交付決定した補助金額を
記入してください。

請 求 書

金 **300,000** 円

令和**6**年**4**月**8**日付け指令第 **1** 号で交付決定がありました
令和6年度新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金を請求いたします。

交付決定通知書の交付決定日と番号を
記入してください。

振込み先

振込み先金融機関名 **東北労働金庫**

支店名 **新庄支店**

種類 普通

口座番号 **0000000**

(フリガナ) **ジュウ タクオ**

口座名 **住 宅 男**

申請者名義の振込口座を記入してください。
ご家族や申請者以外の名義の口座には補助金を振込み出来ません。
※振込先口座の通帳の写し（表紙をめくった見開きのページ）を添付
してください。

新庄市長 山科朝則

申請者 住所 **新庄市沖の町 00-00**

氏名 **住 宅男**

交付決定通知書の交付決定日と番号を
記入してください。

令和6年度 補助事業変更~~(中止・廃止)~~申請書

令和6年4月8日付指令第 1 号で交付決定のあった事業について
変更~~(中止・廃止)~~したいので、新庄市補助金等交付規則第7条の規定

変更の場合は、
(中止・廃止)を二重線で
消してください。

記

- 1 補助事業の名称 令和6年度 新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金
- 2 変更~~(中止・廃止)~~予定年月日 **令和6年4月30日**
- 3 変更~~(中止・廃止)~~の理由 **工事範囲拡大のため**

- 4 変更の内容 **外窓をもう1箇所交換のため。**

変更の理由や内容を
簡潔に記入してください。

	変更前	変更後
請負工事費	1,200,000 円	1,500,000 円
補助金額	300,000 円	300,000 円

(備考) 変更のときは()書を抹消する。

金額を記入してください。